

平成24年度大阪府立吹田東高等学校

第3回学校協議会

日時：平成25年1月25日（金）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

- | | | |
|-----|-------|---------------------------------|
| ・会長 | 室 善博 | 吹田市立千里丘中学校 校長 |
| 委員 | 天津 謙二 | 吹田市立東山田小学校 校長 |
| | 石黒 典男 | 校長経験者 |
| | 柏渕眞理子 | 地域教育協議会 東山田地区青少年指導員会地区委員長（今回欠席） |
| | 城下 英行 | 関西大学 社会安全学部 助教 |
| | 高木美由紀 | 本校 PTA会長 |
| 校長 | 橋本 卓爾 | 吹田東高等学校 校長 |
| 事務局 | 今井 洋子 | 吹田東高等学校 教頭 |
| | 野木 義弘 | 吹田東高等学校 事務長（今回欠席） |
| | 池田 隆宏 | 吹田東高等学校 首席 |
| | 藪内 博樹 | 吹田東高等学校 首席 |

- ・開会のあいさつ 橋本 校長
保護者から学校への意見書の提出は0件であった。
「がんばった学校支援事業(250万円)」で4階地学講義室を整備した。「志（こころざし）ルーム（多目的教室）」として活用する。

・議 事

(1) 「学校教育自己診断」について結果報告

保護者アンケートについて

「吹田東高校に進学させてよかった。」の満足度は例年通り。3年は例年より若干低い。例年よりアンケート実施日を早めたことが影響しているかもしれない。

「充実した授業が多いようだ。」「吹田東高校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。」は否定的な意見がやや多い。

「吹田東高校では、授業以外の講習が充実している。」「吹田東高校の土曜日の学習支援（青葉丘セミナー）は充実している。」「さまざまな学校行事に、子どもは積極的に参加している。」は肯定的な意見が多い。

「吹田東高校の生徒指導の方針に共感できる。」は約75%の保護者に理解していただいているようだ。学校教育自己診断のアンケートをきっかけに学校の取り組みについて考える保護者もいるようだ。去年より全体としては肯定的意見が多い。

開かれた学校として公開授業を増やすことを検討している。現在は2学期のオープンキャンパスの時だけである。来年度については1学期中に計画している。今年度は去年より参加人数が増えている。

生徒アンケートについて

「吹田東高校に進学してよかった。」は3年生については肯定的意見が多いが、2年生について若干低いのが気になる。

「吹田東高校は生徒の意見をよく聞いてくれる。」「教え方に様々な工夫をしている先生が多い。」は同じアンケートを教員に実施すると高いが、生徒向けのアンケートでは低い。

「学習のてびき（シラバス）は役立っている。」は否定的な意見が多いが、「役に立った」と記述しているのもあった。

「授業はわかりやすい。」は1年生では肯定的意見が多いが、2年生はそうではない。

「担任の先生以外に保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。」については肯定的

意見が少なく、保健だよりや教育相談の充実、生徒達に相談しやすい雰囲気づくりに取り組む。全校集会などで担当から生徒に話をする機会を設けてみるのも得策ではないか。以前は気軽に保健室を利用していたが、最近では減っている。逆にスクールカウンセラーに相談するケースが増えている。

「自分自身は、体育祭や文化祭などの生徒会活動に積極的に参加している。」は保護者が思っているほど高くない。

「学習内容を深めるため、現在、塾や予備校に通っていますか。」は、3年生では進路が決定している者もいるので、質問の仕方考えた方がいい。

「自分の進路（就職・四大・短大・専学等）を決定したのはいつごろですか。1,2年生も教えてください。」では3年の1学期と2学期に決定していることが多く、もっと前で決定できるような取り組みが必要。

「希望の進路実現のための受験勉強は、1日平均何時間勉強しています（しました）か。」では3年で2割が全くしていないと回答しているのが気になる。

(2) 本年度の学校経営計画の取組状況について

中期的目標として平成24、25、26年度の3カ年で計画している。

授業改善については61%（前年度56%）に上昇。教員による講習についても肯定的回答が83%（前年度74%）に上昇。授業の満足度が低い講座が9講座から17講座に増えた。また、1日の勉強時間が0時間という回答が1・2年では改善されたが、3年では改善されず。自習室は1日平均9.12人利用。

授業アンケートは約10年前から実施している。1学期に客観的アンケート、10月に記述式アンケートを実施。7月の客観的アンケートの結果を校長のコメント入りで9月に各教室に掲示。また、10月に各担当で生徒に記述式アンケートを実施し、授業改善に取り組んでいる。

6月と10～11月に公開授業を実施し、教員間で見せ合ったりしている（参加人数については集計中）。進路については選択肢が以前に比べると増えており、進路決定に時間が掛かる生徒もいる。1年から進路ガイダンスを実施している。女子は資格を取得できる学校に進学を希望するケースが多い。

委員：生徒に配布するシラバス（学習のてびき）については大変良くできているが、活かされていないのが残念。アンケートで「シラバス（学習のてびき）通りに授業は進行しましたか。」という質問を出したらいいと思う。

事務局：シラバス（学習のてびき）は10年以上前から他の学校に先駆けて行っている。シラバスは3年生では余り見ない傾向にある。教員もうまく活用できていない。

事務局：校舎は築約40年が経っており、古い割にきれいという意見や階段やトイレが汚いという意見がある。私学に比べると見劣りする。毎日、生徒には清掃させている。トイレに関しては月2回、業者が清掃をしている。

委員：学校における清掃活動では目的意識を持たせることが大切。大学や専門学校では業者が清掃活動をしているので、高校が最後の清掃活動になる。きちんと清掃できるよう生徒に指導していただきたい。中学校では担任がつきっきりで、ほうきの持ち方など指導している。

事務局：携帯連絡網は大部分の保護者に活用していただき、好評である。

委員：ある学校では定期考査問題を教科全体で検討している。労力がかかるが、検討してはどうか。

委員：服装や挨拶などが以前に比べて随分良くなっているが、自転車に関するマナーが悪いのが気になる。指導を徹底するようにお願いしたい。

事務局：いただいた意見を参考に学校運営をしていきます。